

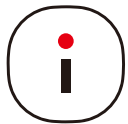
iid
Press

2023年6月期(2022.7.1~2023.6.30)

2023年6月期(2022.7.1~2023.6.30)



We are the User Experience Company.



株主の皆さまへ TOP MESSAGE

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2023年6月期は、ウクライナ侵攻、インフレ懸念など不安定な社会経済環境のもと、引き続き当社グループ独自の成長戦略を強化することにより、連結売上高は6,072百万円(前期比109%)と過去最高を更新することができました。一方で、営業利益は568百万円で前期比89%となりましたが、通期の過去4年平均成長率(CAGR)は16.3%と堅調に推移しており、EBITDAは717百万円で過去最高となりました。

当社グループ独自の成長戦略:特定メディアに依存しない事業展開「メディアポートフォリオ戦略」、ネット広告のみに依存しない「360度ビジネス」の具体例としましては、全国のコンビニエンスストア設置のマルチコピー機からコンテンツを購入いただける「エンタメプリント」を通じたIP(知的財産)ビジネスの拡大、往年の名作「ウィザードリィ」を通じたゲームパブリッシング事業の拡大、またリアルコミュニケーション回帰の流れを受けて、教育・自動車領域を中心にリアルイベントも強化しております。

AIに対する取り組みに関しましては、エンジニア組織に新たなチーム「IID AIrticle Lab」を立ち上げて専属のエンジニアを配置し、当社独自プラットフォームへの段階的なAI搭載を進めております。引き続き、コンテンツ制作における情報収集の効率化や広告の最適化などにおけるAIの活用を積極的に推進し、コスト削減と収益化の両面を追求してまいります。

また、株主の皆様に対する利益還元としまして、これまで公表しておりましたとおり、2023年6月期末に12円／株の期末配当を実施いたしました。2024年6月期末におきましても、安定した財務基盤を踏まえ、連結株主資本配当率(DOE)1.5%を目安とし、13円／株の期末配当を実施する予定です。

私たちイードグループは、不安定な社会情勢の中でも、ピンチはチャンスと捉え、柔軟な思考と創造力で新たなビジネス創出に取り組み、今後も中期業績目標達成に向け邁進してまいります。

今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



株式会社 イード
代表取締役 宮川 洋

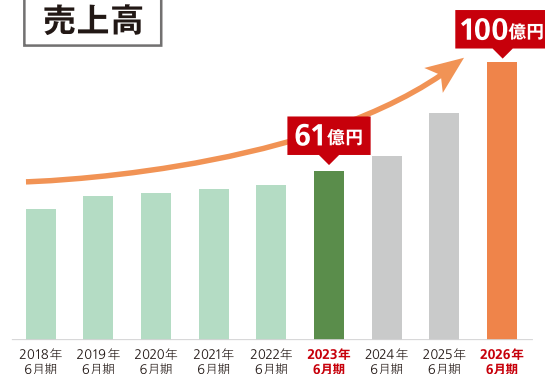
Contents

株主・投資家の皆さまへ	1	特集	7
イードの事業概況	2	会社概要・株主の概況	9
2023年通期 業績ハイライト	5		

中期業績目標 (2026年6月期)

クリエイタープラットフォーム事業(CP事業)を主軸に、積極的にM&Aや事業開発を進めることで、手がけるメディアや事業の領域を拡大するとともに、各領域でのビジネスモデルを多角化し、事業機会と収益を多様化・最大化することによって、2026年6月期の連結売上高100億円、連結EBITDA12億円を目指す。

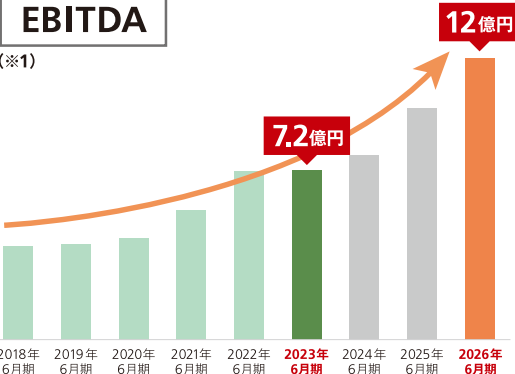
売上高



※2022年6月期から新収益認識会計基準を適用

EBITDA

(※1)



※1・・・EBITDA = 営業利益 + のれん償却費 + 減価償却費

株主還元方針について

従来のM&Aや新規事業への成長投資と併せて、株主の皆様への利益還元の姿勢をより明確にするために、安定的かつ継続的な配当を重視する方針です。

2023年6月期末

12円／株の配当を実施

安定した財務基盤を踏まえ、連結株主資本配当率(DOE)1.5%を目安とし、2024年6月期末も13円／株の配当を実施予定

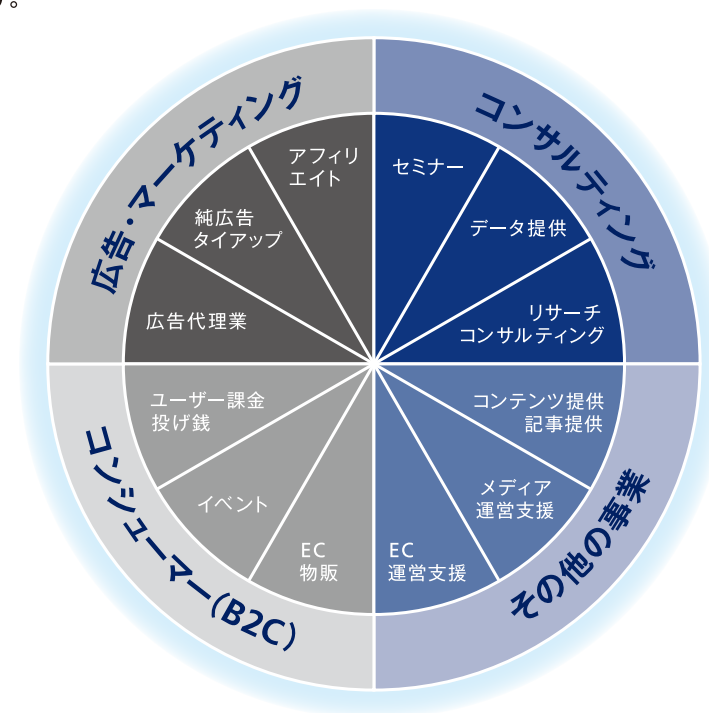
イードグループは連邦経営

各社でメディア関連事業を展開し、グループ一丸で成長してまいります。



『360度ビジネス』で多様なマネタイズ手法を展開

広告を中核にしたB2Bビジネスから、ユーザー課金、EC物販などのB2Cビジネスまで、360度のビジネスモデルを展開し、不透明な社会経済環境のもと、引き続きネット広告のみに依存しない独自の成長戦略を強化してまいります。



広告・マーケティング

メディアの規模やユーザー属性を活かして企業の販売促進を支援。

コンサルティング

専門知識やユーザー調査を元に企業活動を支援。

コンシューマー(B2C)

メディアを通じた商品の販売やサービスに対する課金。

その他の事業

メディア運営の知見を活かしたメディア構築支援など。

2023年6月期通期 業績ハイライト

- ・連結の売上高は前年同期比109%、通期比較で過去最高
- ・連結の営業利益は前年同期比89%に留まったが、EBITDAは過去最高

連 結

	2023年 6月期 通期	2022年 6月期 通期	前年 同期比
売上高	6,072	5,574	109%
営業利益	568	638	89%
営業利益率	9.4%	11.4%	▲2.0pt
EBITDA	717	713	100%

(注) EBITDA＝営業利益＋のれん償却費＋減価償却費

C P

	2023年 6月期 通期	2022年 6月期 通期	前年 同期比
売上高	5,431	4,799	113%
営業利益	440	482	91%
営業利益率	8.1%	10.1%	▲2.0pt

C S

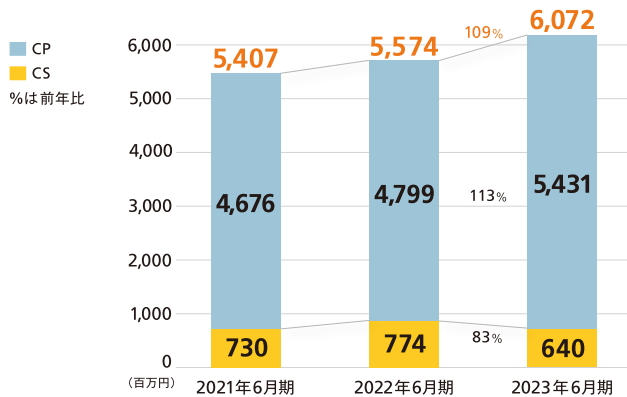
	2023年 6月期 通期	2022年 6月期 通期	前年 同期比
売上高	640	774	83%
営業利益	128	155	83%
営業利益率	20.1%	20.1%	±0pt

(百万円)

2023年6月期通期 セグメント別売上高、営業利益の推移

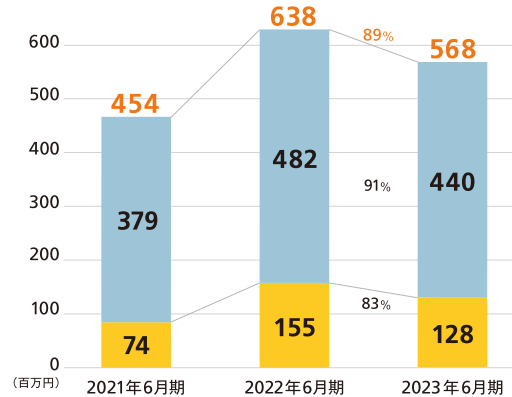
- ・CP事業の売上高は堅調に推移、営業利益は前期比91%に留まった
- ・CS事業は売上高、営業利益とも前期を下回ったが、営業利益率は高水準を維持

ー売上高推移ー



(注) 2022年6月期から新収益認識会計基準を適用

ー営業利益推移ー



2023年6月期通期 連結損益計算書

- ・2023年5月12日公表の業績予想に対し、営業利益・経常利益ともに109%と予想を上回る結果となりました。

売上高は6,072百万円(前年同期比109%)、営業利益は568百万円(前年同期比89%)、経常利益は566百万円(前年同期比89%)、当期純利益は280百万円(前期比62%)となりました。

CP事業では、当連結会計年度中に連結子会社化したエフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社の業績が寄与し、データ・コンテンツ提供売上は2,351百万円(前年同期比133%)、システム売上は946百万円(前年同期比130%)と大きく増加しました。

CS事業では、リサーチソリューション、ECソリューションとともに前期と比較して粗利率の高い大型案件の受注が少なく、売上高・営業利益ともに減少となりました。

	2023年 6月期	5/12公表の 業績予想	達成率	2022年 6月期	前年同期比
売上高	6,072	6,000	101%	5,574	109%
営業利益	568	520	109%	638	89%
経常利益	566	520	109%	638	89%
当期純利益	280	350	80%	450	62%

(注) 当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。

(百万円)

2023年6月期通期 連結貸借対照表

- ・当期純利益の堅調な積み上げにより利益剰余金が増加、前期末より株主資本、純資産も大きく増加
- ・自己株式取得及びM&A投資を積極的に実施

当連結会計年度末における総資産は5,661百万円(前連結会計年度末比492百万円増加)となりました。主な要因は、当連結会計年度のM&A等によるのれん等の無形固定資産合計が314百万円増加したこと、戦略的な出資により投資有価証券が149百万円増加したこと等によるものです。

当連結会計年度末における負債合計は1,488百万円(前連結会計年度末比148百万円増加)となりました。これは主に、第2四半期連結会計期間においてエフ・アイ・ティー・パシフィック株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めたこと等によるものです。

当連結会計年度末における純資産合計は4,172百万円(前連結会計年度末比344百万円増加)となりました。主な要因は、利益剰余金が増加したこと、その他有価証券評価差額金が52百万円増加したこと、非支配株主持分が48百万円増加したことおよび自己株式が▲48百万円増加したこと等によるものです。

	2023年6月期	2022年6月期	増減額
流動資産	4,022	4,050	▲28
固定資産	1,639	1,118	+521
資産合計	5,661	5,169	+492
流動負債	1,047	1,057	▲10
固定負債	441	283	+158
負債合計	1,488	1,340	+148
株主資本	4,005	3,760	+245
利益剰余金	2,358	2,078	+280
自己株式	▲133	▲85	▲48
純資産	4,172	3,828	+344
負債・純資産	5,661	5,169	+492

(注) 当期純利益とは親会社株主に帰属する当期純利益のことです。

(百万円)



幅広い事業展開で『360度ビジネス』を拡充

時代に応じたメディアのあり方を模索し、各領域で広告に依存しない360度のビジネスモデルを構築、拡充しています。

アニメ・映画領域はIPを活用したビジネス開発を推進

全国のコンビニエンスストアに設置されているマルチコピー機で多彩なコンテンツを印刷できる「エンタメプリント」



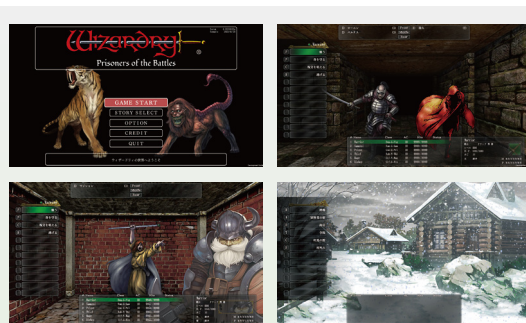
「バトルキング!! -We'll rise again-」
2023年3月10日(金) 公開
©映画「バトルキング!!」製作委員会



「アキはハレとごはんを食べたい」
2023年6月2日(金) 公開
©たじまこと／竹書房「アキハル」製作委員会

ゲーム領域ではゲームのパブリッシングを展開

Game*Spark Publishingブランドにて販売中の3DダンジョンRPG『ウィザードリィ外伝 五つの試練』



2023年には追加ダウンロードコンテンツとして
「戦闘の監獄」「慈悲の不在」も発売。



継続的にM&Aを実行、金融領域を強化

引き続き積極的にM&Aを実行しており、金融領域においても事業を拡大しています。

「決算が読めるようになるノート」



「決算が読めるようになるノート」をシバタナオキ氏より取得して運営開始。Web3に特化した「Web3事例データベース」や、日米の主要IT企業のKPIを比較可能にした「KPIデータベース」なども同時に展開。

IPO投資情報メディア「庶民のIPO」



「庶民のIPO」「カプスル」「トクモ」など投資に関する複数のメディアを展開する株式会社カプスルを買収し、運営開始しました。「貯蓄から投資へ」の流れを受け、注目度の高い新NISAなどの情報を発信してまいります。



会社概要

会社名	株式会社イード（IID, Inc.）
設立	2000年4月28日
所在地	〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー 17階
資本金	50,000千円
事業内容	メディア事業／リサーチ事業／メディアコマース事業
従業員数	単体158名／連結276名
子会社	株式会社エンファクトリー 株式会社 ネットショップ総研 マイケル株式会社 SAVAWAY株式会社 株式会社リンク エフ・アイ・ティー・パンフィック株式会社
持分法適用	株式会社絵本ナビ SODA株式会社

役員

代表取締役	宮 川 洋
取締役	須 田 亨
取締役○	大和田 廣樹（株式会社ECBOスクエア 代表取締役会長）
取締役○	吉崎 浩一郎（株式会社グロース・イニシアティブ 代表取締役）
監査役	山 中 純 雄
監査役○	安 達 美 雄
監査役○	藤 山 剛（株式会社ラウンドアバウト・キャピタル 代表取締役）

○＝社外役員

株主の概況

発行可能株式総数

発行済株式の総数

株主数

8,000,000 株

5,062,600 株

2,207名

■大株主の順位

順位	大株主名	株式数	持株比率
1	エキサイト株式会社	706,900	14.45%
2	株式会社 博報堂DYメディアパートナーズ	517,700	10.58%
3	株式会社 マイナビ	400,000	8.17%
4	株式会社 ティーガイア	250,000	5.11%
4	株式会社 ボブラ社	250,000	5.11%
6	宮川 洋	204,700	4.18%
7	永井 詳二	150,000	3.06%
8	イード従業員持株会	117,604	2.40%
9	中坊 勇太	114,800	2.34%
10	電通デジタル投資事業有限責任組合	100,000	2.04%

(注1) 2023年6月30日時点の株主名簿に基づき記載しております。

(注2) 当社は、2023年6月30日時点で自己株式170,138株を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式についてのご案内（株主メモ）

上場市場	東京証券取引所グロース
証券コード	6038
事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年事業年度終了後3ヶ月以内
株主確定基準日	毎年6月30日
株式の売買単位	100株
公告掲載方法	電子公告により行います。公告掲載URL：http://www.iid.co.jp/company/koukoku やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
連絡先・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL：0120-232-711（フリーダイヤル）



We are the User Experience Company.

株式会社イード
(証券コード 6038)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や判断に基づくものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。本資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではないことをあらかじめご了承ください。

IRサイトのご案内

イード IR

検索

<http://www.iid.co.jp/ir/>